

第5学年 国語科学習指導案

対象 5年1組 男16名, 女17名 計33名
 指導者 佐野 充恵

- 1 単元名 理由づけを明確にして説明しよう
 教材名 「グラフや表を用いて書こう」 (光村図書 国語5下)

2 単元について

(1) 児童について

本単元にかかわる既習事項について事前調査を行ったところ、次のような結果となった。

写真や図等を使って文章を書くよさはどんなことだと思いますか。(記述)	内容が分かりやすくなる (読み手にとって) 79%(26人) 内容を説明しやすくなる (書き手にとって) 39%(13人) 文だけでは分からないことが分かる。等
事実と考えを区別して文章を書くことができる。(写真を見て書いた文章から)	事実と考えを区別して文章を書いている 67%(22人) 区別があいまいだが文章を書いている 30%(10人) 文章を書けない 3%(1人)
次に作文を書くときにはどんな作文を書きたいですか。(記述)	みんなが読みたくなる読みやすい作文 聞き手が詳しく分かる作文 等

上記の結果から、自分の考えを伝える際に写真や図を使用することが効果的だと分かっている児童は多いが、実際に写真を見ながら文章を書かせてみると、事実と事実に対する自分の考えを区別して書く力が不十分だと感じている児童が33%であった。しかし、自分の考えが聞き手に伝わるような文章を書けるようになりたいという意欲は高まっている。

学級活動では好んで発表する児童が多く、社会科で班ごとに調べたことを発表し合う活動では、進んで資料集の写真やグラフを積極的に使い発表会を楽しんでいた。しかし、その資料の使い方が効果的と言えない場面も多々ある。

そこで本単元では、「グラフや表を用いて自分の考えが伝わるように書く」という言語活動を設定する。自分の考えの理由を明確にするためにグラフや表を用いる力を付けたり、グラフや表から得た理由と考えを区別して書く力を高めたりしたいと考え、この単元を設定した。

(2) 教材について

本単元にかかわる既習事項は第3学年及び第4学年「B書くこと」の指導事項ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」である。具体的には、4年生の『リーフレットを作ろう』において、写真や文章を組み合わせるリーフレットを作成する活動の中で写真と文章を対応させながら書くことを学習している。

本単元の中心となる指導事項として「B書くこと」の指導事項エ「引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。」を取り上げる。グラフや表を用いて視覚化したり数値化したりした事実を理由づけとして自分の考えを述べることで、相手を説得する文章を書く際に効果的であることを学習させたい。ここでの学習を6年生の『ようこそ、私たちの町へ』で町のよさを伝えるパンフレットを作る学習につなげていきたいと考えた。

(3) 指導について

本単元では、グラフや表などを用いて、自分の考えを伝えることを主な学習のねらいとする。児童が意欲的に活動し力をつけるために下記の点に留意したい。

1つ目は、相手に伝える題材として「社会が暮らしやすい方向に向かっているかどうか」を設定することである。社会科の学習等を通して、今までより広い視野で生活について見つめることができるようになった児童が興味をもって取り組める題材であり、自分の考えの理由づけとしてグラフや表が有効に働く題材であると考えた。

2つ目は、本時でグラフや表を用いた文章を2例あげて児童に考えさせる場面を設定することである。2例を比較することにより、児童が能動的にグラフや表を用いる際に明記しなければな

らないことを知ったり,同じグラフを用いても文章の表し方によって相手への伝わり方が違うことに気付いたりできると考えた。

3つ目は,単元の終末で参観日に保護者に自分の考えを聞いてもらう場面を設定することである。考えを伝える相手と場面を明確にすることにより,学習の方向性が定まり成長した自分を見てもらいたいという意欲につながると考えた。

3 単元の見直し

(1) 国語への関心・意欲・態度

自分の考えに説得力をもたせるとき, グラフや表の有効性に気付き,書いたものを読んで確かめようとする事ができる。

(2) 書くこと

- ・自分の考えと根拠などを書き分けることができる。
- ・グラフや表などを用いて,自分の考えを伝えることができる。
- ・他者の文章を読んで,優れた点を具体的に指摘することができる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

説得力のある文章を書くための構成やその要素を理解して書くことができる。

4 指導と評価の計画

次	時	学習内容	国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
小4		書こうとすることの中心を明確にして,写真と文章を対応させながら,リーフレットを作成する。	書こうとすることの中心を明確にして,写真を選んだり,文章を書いたりしようとしている。	文章全体の構成を理解し,書くことの中心を明確にして書いている。選んだ写真と対応させて文章を書いている。	句読点を適切に打ち,必要な場所は改行して書いている。
一	1	単元の見直しをもち,提示された表やグラフから事実を読み取る。	単元の見直しをもち,提示されたグラフや表から事実を読み取ろうとしている。	単元の見直しをもち,提示されたグラフや表から事実を読み取っている。	説得力のある文章を書くための構成について理解している。
二	2	自分の考えをもち,理由づける統計資料を選ぶ。	自分の考えをもち,理由づける統計資料を選ぼうとしている。	自分の考えをもち,理由づける統計資料を選ぶことができている。	
	3 【本時】	自分の考えを理由づけるグラフや表の提示の仕方を工夫する。	自分の考えを理由づけるグラフや表の提示の仕方を工夫しようとしている。	自分の考えを理由づけるグラフや表の提示の仕方を工夫している。	
	4 5	グラフや表を効果的に用いて自分の考えを伝える文章を書く。	グラフや表を効果的に用いて自分の考えを伝える文章を書こうとしている。	グラフや表を効果的に用いて自分の考えを伝える文章を書いている。	説得力のある文章を書くための構成について理解している。
三	6	書いた文章を読み合い,表現の仕方に着目して助言し合う。	書いた文章を読み合い,表現の仕方に着目して助言し合おうとしている。	書いた文章を読み合い,表現の仕方に着目して助言し合っている。	説得力のある言葉の使い方に気付いている。
小6		書く事柄を収集し,集めた事柄を整理してパンフレットを作成する。	書く事柄を収集し,集めた事柄を整理してパンフレットを作ろうとしている。	図表やグラフの特徴,効果を考えて用いている。	効果という観点から構成や表現を考えて書いている。

5 本時の指導

(1) 目標

自分の考えを理由づけるために、グラフや表の提示の仕方を工夫して書くことができる。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	自分の考えを理由づけるために、グラフや表の提示の仕方を工夫して書こうとしている。
書く能力	自分の考えを理由づけるために、グラフや表の注目する言葉や数字を選び、提示の仕方を工夫して書いている。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 3分	1 前時の想起 2 課題の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> グラフや表を使って、自分の考えを工夫して伝えよう。 </div>	●「社会が暮らしやすくなっているか」についての自分の考えを参観日で発表するために、理由づけとなる資料を選んだことを想起させる。 ●「工夫して」とは相手を説得できるような文章にすることを確認する。
展開 33分	3 課題の解決 (1) 2種類のモデル文を見て、どんな書き方がよいか考える。 ① 一人学び ② ペア学習 ③ 全体交流 ・何を表すグラフなのか記した方がよい。 ・自分の考えがうまく伝わるように、グラフの中のどこに注目するか考えた方がよい。 等 (2) 自分が選んだグラフや表を提示し、自分の考えを書いてみる。	●モデル文を2種類提示し、比較しながら資料提示に必要な事柄や効果的な活用の仕方について気付かせる。 ●ワークシートを用いて、モデル文についてまず個々に考えをもち、次に隣と二人組で考えを交流させる。 ●全体交流では自分の考えだけでなくペアの相手の考えも発表してよいこととし、交流を深めさせる。 ●モデル文の中の表やグラフから分かったことと自分の考えを区別させ、実際に書く際に意識させたい。 ●本時では選んだグラフや表の中から、自分の考えの理由づけとなる言葉や数字を選び、事実と考えを実際に書く活動をさせる。 ●何を表すグラフか等については詳しく表記せず、グラフや表のどの部分に示されているかの確認だけとする。 ◎自分の考えを理由づけるために、グラフや表の注目する言葉や数字を選び、工夫して書いている。(ワークシート) ●作業が早く進んだ児童は、隣りと二人組で書いた文章を見合い、助言し合う。

終末 9分	4 まとめ	<p>グラフや表を使って、自分の考えを伝える方法</p> <p>ア 何を表すグラフなのかを述べる。</p> <p>イ どんな情報を示しているかを述べる。</p> <p>ウ 注目する言葉や数字を示しながら、資料から分かったことを述べる。</p> <p>エ 自分の考えを述べる。</p> <p>オ どんな資料からの引用かを示す。</p>	
	5 振り返り		<p>●ここでまとめたことをこの作文の評価表に使用し、次時で文章を書く際のよりどころとさせ、意欲向上につなげる。</p> <p>●分かったことや気付いたこと、次時で気を付けたいこと、友達のよさ等について本時で思ったことを文にまとめ、学びを実感させる。</p>
	6 次時の確認		●次時はいよいよ作文を書き始めることを伝え、意欲をもたせる。

【振り返り 例】

- ・自分の考えがうまく伝わるようにグラフから大事な数字を選ぶことができた。
- ・〇〇さんのグラフを見て自分もなるほどなと思った。
- ・今日は途中までしかできなかったなので、明日はもっと考えが伝わるように書きたい。

(4) 板書計画

<p style="text-align: right;">まとめ</p> <p>ア 何を表すグラフなのかを述べる。</p> <p>イ どんな情報を示しているかを述べる。</p> <p>ウ 注目する言葉や数字を示しながら、資料から分かったことを述べる。</p> <p>エ 自分の考えを述べる。</p> <p>オ どんな資料からの引用かを示す。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> グラフ </div> <p style="text-align: center;">モデル文 2</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> グラフ </div> <p style="text-align: center;">モデル文 1</p>	<p style="text-align: center;">悪くなっている ↓ 参観日 家の人に</p> <p style="text-align: center;">良くなっている</p> <p style="text-align: center;">社会の暮らしは良くなっているか</p> <p style="text-align: center;">工夫して伝えよう。</p> <p style="text-align: center;">グラフや表を使って、自分の考えを</p>
			<p style="text-align: center;">理由づけを明確にして説明しよう。</p> <p style="text-align: center;">グラフや表を用いて書こう</p>